



平成19年3月2日

各 位

会社名 株式会社コーセー
代表者名 代表取締役社長 小林保清
(コード番号4922 東証第1部)
問合せ先 広報部長 北澤恒夫
(TEL 03-3273-1514)

代表取締役の異動に関するお知らせ

当社は、平成19年3月2日開催の取締役会において、下記のとおり代表取締役の異動について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 異動の内容

氏名	新役職	現役職
小林保清	代表取締役会長	代表取締役社長
小林一俊	代表取締役社長	代表取締役副社長

なお、代表取締役会長小林禮次郎は、平成19年6月下旬開催予定の株主総会の日をもって代表取締役会長を退任し、取締役相談役に就任する予定です。

2. 異動の理由

経営陣の若返りと経営基盤のより一層の強化を図るため。

3. 新社長の略歴

新役職名 代表取締役社長
氏名 小林一俊 (こばやし かずとし)
出身地 東京都
生年月日 昭和37年8月8日
最終学歴 昭和61年3月 慶應義塾大学 法学部法律学科 卒業
略歴 昭和61年4月 当社入社
平成3年3月 取締役
平成7年3月 常務取締役
平成16年6月 代表取締役副社長

4. 就任予定日

平成19年6月下旬開催予定の株主総会日付

以上

株式会社コーセー 次期社長に 代表取締役副社長 小林一俊を内定

株式会社コーセーは3月2日(金)、取締役会を開催し、代表取締役社長 小林保清を代表取締役会長に、代表取締役副社長 小林一俊を代表取締役社長にそれぞれ内定しました。なお、正式には2007年6月下旬に開催予定の株主総会ならびに株主総会終了後の取締役会において決定する予定です。

代表取締役社長 小林保清は現在、日本化粧品工業連合会の会長として日本の化粧品業界全体のさらなる発展に力を尽くしています。

1991年にはCI活動を導入し、社名を変更するとともに新しい企業イメージの創生に力を注いで今日の発展の礎を築きました。その後、コーセーの創業50周年にあたる1997年に代表取締役社長に就任すると同時に、株式の公開準備に着手。1999年12月に当時の店頭市場に株式を公開するとともに、翌2000年12月に東京証券取引所市場第一部に上場を果たしました。

この結果、上場以来7年間にわたって常に業界を上回る好調な業績を達成。化粧品業界の伸びがほぼ横ばいという状況の中で、上場前年の1999年3月期と2006年3月期を比較すると、売上高は1,378億円から1,778億円へと成長を果たしてきました。

ここ数年、競合他社の再編など、市場環境の変化への対応を進める動きが盛んになってきており、コーセーとしても、若いリーダーのもとで新体制を組織し、積極的な姿勢で対応していくために、社長交代を行なうことにしました。

新社長・小林一俊について

1986年(昭和61年)に入社。

1989年に企画本部長室でCIプロジェクトの推進を担当。広告宣伝の刷新をはかるなどコーセーのイメージ向上に大きな力を発揮。

1991年に取締役マーケティング本部長兼宣伝部長、1995年に常務取締役。2004年に代表取締役副社長に就任してからは小林保清社長の補佐役を務めてきた。

特にマーケティング面で主導的役割を果たし、広告のクリエイティブの充実や独自のブランドマーケティングの展開に力を注いできた。

海外のマーケティングに関する豊富な経験で、ジルシュアートやリンメルなど海外ブランドとのコラボレーションを成功させてきた。

社内外から新しい時代のリーダーとして信望が厚く、これからの経営改革を推進する適任者であるとして新社長に選任された。